

授業概要

科目名		解剖学Ⅰ						授業の種類	講義	必修・選択		必修	
授業回数		15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期		1年	前期	
【授業の目的・ねらい】 人体の正常な形態と構造について学び、疾患の理解に必要な解剖学的知識を修得する。													
【実務者経験】													
【授業全体の内容の概要】 人体の基本的な形態と構造について理解できる。国家試験に則した基礎知識を身につける。													
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 解剖学用語、骨の名称・特徴、関節の構造、内臓の構造を理解する。													
回数	講義内容										準備物(教材)		
1	からだの区分と断面について暗唱テストにて説明することができる。												
2	全身の骨格について概要を暗唱テストにて説明することができる。												
3	骨の構造と関節の形態、しくみについて概要を暗唱テストにて説明することができる。												
4	筋の種類、顔面を中心とする骨格筋の名称と関節運動について暗唱テストにて説明することができる。												
5	骨格筋の構造と収縮のしくみについて理解できる。												
6	心臓および体循環、肺循環について図示によって説明することができる。												
7	血管と血液の組成について理解できる。												
8	消化器系の概要について理解できる。												
9	消化と吸収のしくみについて理解できる。												
10	頭頸部の概要(骨縫合, 筋, 動静脈, 神経)について理解できる。												
11	脳を保護するしくみ(頭蓋内の構造と脳脊髄液)について理解できる。												
12	胸部の概要(胸腔と胸膜, 肺, 呼吸筋群と胸郭の動き)について理解できる。												
13	呼吸とガス交換のしくみについて理解できる。												
14	心臓の構造と栄養血管, 刺激伝導系について理解できる。												
15	総復習 人体の構造と機能について概要を理解できる。												
	定期筆記試験												
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト第3版』医歯薬出版 『ぜんぶわかる人体解剖図』成美堂出版													
【準備学習・時間外学習】 授業で説明した内容について理解を深め、板書をしっかり覚えるようにして下さい。テキストの図を参考に自分で図を描いてみるなど、自分なりの学習の工夫をしてください。													
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。													